

スマイルまなづる 80号

真鶴町立まなづる小学校

令和2年度学校だより

9月28日発行

【文責 校長 浜口勝己】

【学校教育目標】「自分を大切に 仲間や学校を大切に 町を大切に」

～自立をめざし 自分のよさを生かし まちづくりに参加できる子の育成～

ミニ運動会が始まります

いよいよ明日からミニ運動会が始まります。どの学年も、この日に向けて練習を重ねてきました。低・中・高学年ともに、「徒競走」「表現」「学年団による団体種目」の3種目で構成されています。密を防ぐための競技や演技のあり方を先生たち職員だけでなく、自分たちで考えた学年もあります。どのような競技や演技が見られるかも楽しみの一つです。

今回は、新型コロナウイルス感染症対策の関係でいつもと違う形の運動会になってしまいましたが、6年生は、自分たちでやれる仕事をしたいという思いから、実行委員や応援団をはじめ、いろいろな仕事を分担し、全学年のミニ運動会に関わります。

例えば、低・中・高学年別のミニ開会式・ミニ閉会式とは別に、全体開会式・全体閉会式をビデオ動画の視聴という形で行います。実行委員を中心に、応援団や決勝審判・採点係が関わりながら、全体開会式の撮影を事前に行いました。ミニ運動会初日の朝に各教室で視聴します。全体閉会式については、全てのミニ運動会が終わって、結果が出たところで撮影を行うことになっています。

また、徒競走を行う際に、応援団を中心に応援を行います。これまで昼休みを利用して、密を防ぎつつ各色1回ずつ体育館で応援練習を行ってきました。応援団をはじめとする6年生はもちろんのこと、1年生から5年生まで集中して、応援の仕方をマスターしようとしていました。



6年生にとっては、小学校生活最後の運動会。ミニ運動会という形での開催となってしまいましたが、最上級生として積極的に行事に関わろうとする姿勢や意欲に感心するとともに、本番での活躍に期待しています。

そして、各学年の児童も、練習の成果を思う存分発揮できることを祈っています。

保護者の皆様方には、平日開催となってしまったこと、学年が分かれてしまうことにより、ご迷惑をおかけする形となってしまいましたが、お子様の応援について何卒よろしく願いいたします。

「いじめ防止朝会」 & 「いじめをしない・させない、優しい心を育てるための道徳」

例年、6月の第1週に行っている「いじめ防止朝会」と道徳の授業を9月10日（木）に実施しました。一堂に集まる朝会ができないので、最初、全校放送で校長から呼びかけをし、その後、各学級でパソコンとテレビを使用して朝会を行いました。

まずは、簡単な事例から「相手が嫌な思いをしたら、いじめ」という「いじめ」の定義を確認しました。さらに、「いじめは許されないこと」を伝え、「誰かに相談する」手段として相談ポストやSOSレターがあることを紹介しました。



そして、1校時目、各学級でいじめに関する道徳の授業を行いました。（1年生は、時間割の関係で2校時目に行いました。）低学年はいじめられている人の気持ちを中心に、中学年はいじめている人の気持ちを中心に、高学年は傍観者の気持ちを中心に、資料をもとにして、どうすればよいのか、どんなことができるかを考えました。

いじめをしない、させない、優しい心でいっぱいいなまづる小学校になることを期待しています。

道徳の授業を受けて（3年生の「道徳カード」より）

- ・ はじめの話を聞いて、いじめは怖いもの、ぜったいしてはだめなことだと思いました。それで、ぼくもぜったいにいじめをしてはいけないものだと思います。
- ・ 今度いじめられている人を見たらまわりの大人に声をかけていじめをたすけてもらう。自分にいやなことがあったらだれかに相談して、いじめられないようにしてもらう。
- ・ いじめはいけないことだって知っていたけど、この話を聞いて、もっと「いじめはいけない。」ってことが分かりました。
- ・ ぼくもいじめをしたことがあるけど、この勉強をしていやだなと思いました。

避難訓練（防犯：不審者対応）

9月17日（木）、不審者が侵入したときの対応の仕方について訓練をしました。もし、不審者を見かけたときはすぐに離れ、教職員に伝えるように事前指導をしました。不審者が侵入した場合は、そのことを知らせる放送が入ります。放送を聞いたら、教室に入り、内側から鍵をかけ、騒がずに教室中央に集まります。（今回は新型コロナ対応の関係で、密接を防ぐために中央には集まりませんでした。）



職員が不審者に対応し、警察に引き渡すまで、児童は教室内でじっと待つこととなります。児童にとっては、訓練の内容はそこまでです。

最後に放送で、校長から「不審者はもしかするとベランダから侵入するかもしれない。ドアをこじ開けるかもしれない。また、休み時間にそれぞれいろいろな場所にいるときに不審者が侵入してくるかもしれないなど、いろいろな状況がありうるので、そのようなときに自分で考えて行動しなければならない。」という話をしました。「自分の命は自分で守る」…災害時と同様、自分で考えて判断し、行動することが大切です。